

コロナ感染拡大による行政サービスへの影響



明政会
さいじょう
西條
とみひろ
富雄

その他の
質問事項

▼ 市内公共施設のWi-Fi環境整備について

◆ 新型コロナウイルス感染拡大による行政サービスへの影響について

問 全国的に変異株BAI-5系統の感染者が爆発的に増えているが、本市役所職員の感染状況は。

答 第7波の感染拡大が本格化した7月以降の本市職員の感染状況は、8月26日現在、延べ70人、令和3年4月以降約1年半で、延べ122人が陽性者となっている。

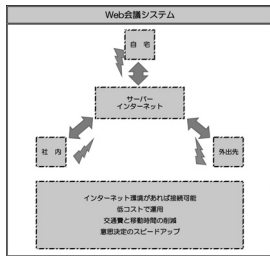
問 市職員の感染拡大で欠員等が出た時、市民への行政サービスの低下や業務遅延などの影響は。

答 各事業部内で、事業部長のマネジメントにより、行政サービスへの影響はない。

(総務人事課)

◆ Web会議環境の拡張

問 Wi-Fi環境整備等IT環境の再整備によりWeb会議環境の拡張をして、コロナ禍の感染対策を。



Web会議システム

答 予防効果と職員の会議出席の移動時間の削減等利点も多いため、利用促進の環境を拡充している。

(デジタル戦略課)

◆ ワンストップ認証

問 DX戦略の革新的サービスモデルとうたっている「ワンストップ認証」の進捗状況は。

答 専門のアドバイザーの支援を受け、市民目線で課題を洗い出す取組み等も実施し、ワンストップ認証の実装に、市民が利便性を実感できる、血の通ったデジタルサービスの構築を目指す。

(デジタル戦略課)

小口市政5期20年の実績と成果について



市民派連合
ながた きみよし
永田 公田

その他の
質問事項

▼ 旧桔梗ヶ原保育園について

◆ 小口市政を振り返って

問 私は小口市長の市政運営を高く評価しており、市長は5期20年を振り返り、どのように総括されているか。

答 市政を担当させていただいてから今日まで、常に挑戦者の心意気で、本市の発展、市民益の追及に全力を傾注し激動の時代を走り続けてきたものと自負している。また、協働のまちづくりを基本理念に、「教育再生」「農業再生」を政策テーマの柱とし、未来への投資を実行し、本市の新たな価値の創造につながっているものと評価している。また、市政に対する満足度は約7割に達するなど、20年間の取り組みが実を結び、内外に選ばれる塩尻市が実現しつつあると言っても過言ではないと考えている。

(市長)

◆ 宗賀床尾地区の宅地造

成について

問 宅地造成に至った経過と見通しについて。

答 県内では初となる既存集落型地区計画を令和3年4月に都市計画決定し、区域西側の一部約0・3ha、8区画の宅地造成が行われ、販売が開始されると聞いている。

(都市計画課)

◆ 宗賀児童館の移転計画について

問 移転計画の予定は。

答 宗賀小学校の余裕教室を改修し、児童館として活用し、令和7年度からの供用開始を予定している。

(教育総務課)



床尾区の宅地造成地